



「子どもの食物アレルギー」について解説する田原小児科長

「避ける」から「食べる」へ

子どものアレルギー ことわざ交え解説

製鉄記念室蘭病院

を交えて説明した。

製鉄記念室蘭病院(松木高雪病院長)の「第19回市民健康セミナー」が、室蘭市知利別町の同病院で開かれ、田原泰夫小児科長が「子どもの食物アレルギー」「避ける指導」から「食べる工夫をする指導」へをテーマにことわざ

母親と赤ちゃんはじめ市民ら約30人が参加。田原科長は、アレルギーを起す心配がある食物は「食べないよつに」とした15年前に対して、「食べる工夫をする指導」に変化した現状を指摘。「君子危

うきに近寄らず(食べさせない)から、石橋をたたいて渡る(安全性を確かめて食べる工夫をする)に変わっている」などと説明した。

食物アレルギーの仕組みや検査方法、アレルギー症状のアナフィラキシーショックへの対応なども解説した。

(松岡秀宜)